

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

草 加 市 立 中 央 図 書 館

令和 6 年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名	事業概要	計画	実績	成果等
1	図書館資料や情報の充実及び効果的・効率的な提供	公立図書館の役割を果たし、子ども読書活動を推進するため、児童書に重点を置いた魅力ある蔵書の整備を行います。	通年	・蔵書点数合計614,700点(615,280点) (内訳) 中央図書館491,646点(490,252点) 公民館・文化センター38,845点(39,309点) サービスコーナー・地域開放型図書室77,792点(78,512点) 草加市電子図書館（電子書籍）6,417点(7,207点) ・受入点数（購入・寄贈・弁償等）16,565点(18,320点) ・除籍点数17,145点(16,220点)	中央図書館、6公民館図書室等の資料の新陳代謝に努め、児童書に重点を置いた魅力ある蔵書を整備しました。 図書館ホームページからの予約を促進し、中央図書館と6公民館図書室等を結ぶ図書館ネットワークの活用や電子図書館により、効果的・効率的に資料を提供しました。 本市に所蔵のない資料は新規購入又は相互貸借により、提供しました。 中央図書館では3階のフロア配置の変更を行って自由席を増やし、利用者への場の提供を行いました。
		公民館図書室や小学校を活用した地域開放型図書室等を結ぶ図書館ネットワークや電子図書館等、図書館サービスの利用方法を図書館だより等で周知し、図書館資料を効果的・効率的に提供します。	通年	・貸出点数合計939,009点(977,977点) (内訳) 中央図書館642,730点(669,595点) 公民館・文化センター108,929点(114,480点) サービスコーナー・地域開放型図書室160,667点(164,600点) 草加市電子図書館（電子書籍）26,683点(29,302点) ・中央図書館入館者数409,263人(391,085人) ・中央図書館開館日数293日(301日) ・予約・リクエスト件数（電子書籍含む）163,583件(173,932点) うち図書館ホームページからの資料の予約件数126,872件(135,843件) ・他の公立図書館との相互貸借貸出点数5,722点(6,194点) 借受点数2,901点(2,851点) ・獨協大学図書館紹介状交付4件(4件) ・図書館だより発行4回(4回)	
		市民ボランティアと連携し、地域で読み聞かせ等を行うアウトリーチサービスを実施することにより、図書館サービスの利用を促進します。	年3回	・こんにちは！中央図書館です！ 8月11日草加マルイ読み聞かせ80人 工作会40組 11月16日谷塚駅西口地区まちづくり用地でのイベント 古本市309冊 電子書籍のデモンストレーション3人 しおり作成ワークショップ120人 おみくじ40人 3月20日谷塚文化センター レファレンス4人 読み聞かせ1組2人	アウトリーチサービスを行うことで、図書館を訪れたことのない方や、来られない方に図書館サービスを知ってもらいきっかけづくりを行いました。 アウトリーチサービスの利用者を増やし、図書館サービス利用へと繋げる手法などを検討する必要があります。
		図書館電算システムの更新を行い、利便性を向上させます。 （契約事務、更新の準備、更新作業、2月1日からシステム稼働）	通年	・当初の予定通り遅滞なくシステム更新を実施しました。 ・また、システムの更新により3階一般室へFreeWi-Fiを導入したほか、LINE連携機能を導入したことにより、利用者の利便性の向上を図りました。	FreeWi-Fiを導入したことで、Wi-Fi環境の1日当たりの利用が約40件程度から400件程度と大幅に増加するなど、オンラインと図書館資料をハイブリッドに利用した学習環境の構築ができました。 次期システム更新に向け引き続き利用者のニーズを把握するとともに、適切なシステムを選定していく必要があります。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名	事業概要	計画	実績	成果等
2	郷土資料等の充実	奥の細道やドナルド・キーン等、草加市に関連する郷土の資料並びに人権及び平和に関する資料の充実を図ります。	通年	・郷土資料の蔵書数 18,855点（18,558点） ・奥の細道関連資料の蔵書数 1,240点（1,230点） ・ドナルド・キーン氏関連資料の蔵書数 307点（304点） ・人権関連資料の蔵書数 483点（505点） ・平和関連資料の蔵書数 1,752点（1,759点） ・郷土資料等の貸出数 2,702点（3,067点）	奥の細道やドナルド・キーン氏等、草加にゆかりのある資料の収集に努めました。
		平和、ドナルド・キーン、郷土作家等のギャラリー展示に合わせて、テーマ本コーナー等に関連資料の排架を行うとともに、関係諸機関と連携して情報を発信します。	通年	・3階EＶ前に郷土作家を紹介するコーナーを設け、作家のブックリストを配布する等、情報発信を図りました。 ・平和コーナーに展示している図書のブックリストを配布し、情報発信を図りました。 ・2月に文化観光課と共催で展示ギャラリー「ドナルド・キーン先生と草加」展を実施しました。	展示ギャラリー、テーマ本コーナー、ブックリストを連動させて、草加における奥の細道に関する情報発信を行いました。
3	レファレンスサービスの充実	市民の生活課題や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用方法を周知し利用を促進します。	通年	・レファレンスサービス件数（参考調査及び所蔵調査）22,398件（22,639件） 内訳：参考調査 2,944件（3,086件） 所蔵調査 19,454件（19,553件）	レファレンスサービスの充実に努めました。
		レファレンス事例の公開やオンラインデータベース、Wi-Fiを導入した持込み端末利用席等の周知により、利用者自身で調査や解決ができるように支援します。	通年	・持込み端末利用席（Wi-Fiあり） 利用者数 9,888人（8,375人） ・インターネットパソコン利用席 利用者数 2,124人（1,845人） ・オンラインデータベース席 利用者数 120人（143人） ・パスファインダー件数 13件（13件） ・パスファインダー更新件数 1件（0件） ・レファレンス公開事例 7件（19件）	持込み端末利用席、オンラインデータベース、パスファインダー及びレファレンス公開事例について、X（ツイッター）に掲載し、利用の促進を図りました。 調べ物に役立つ図書等をわかりやすく紹介するパスファインダーの提供や、これまでに回答したレファレンス事例の国立国会図書館のレファレンス協同データベースでの一般公開により、利用者自身による課題解決を支援しました。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名		事業概要	計画	実績	成果等
4	誰もが使いやすい図書館づくり	4－① 誰もが読書を楽しむことができる図書館サービスの充実	ユニバーサルデザインに配慮した電子書籍の充実を図り、草加市電子図書館の利用を促進します。また、児童書読み放題パックの整備を図り、子どもたちの読書活動を支援します。	通年	草加市電子図書館蔵書数 6, 4 1 7 点 （7, 2 0 7 点） バリアフリー機能対応電子書籍 2, 8 4 3 点 （3, 5 1 1 点） 【バリアフリー機能対応の内訳】 ・文字拡大機能（リフロー）のみ 6 3 6 点 （7 1 3 点） ・文字拡大機能（リフロー）及び音声読み上げ機能 1, 8 9 6 点 （2, 5 0 3 点） ・おとえほん等 3 1 1 点 （2 9 5 点） 児童書読み放題パック 2 0 0 点 （1 0 0 点）	バリアフリー機能付きの電子書籍を整備し、来館が難しい人や障がい者等に対する読書支援を図りました。 児童書読み放題パックを導入し、朝読書等の利用を希望した小学校に利用ＩＤ・ＰＷの配布を行い、子どもたちの読書支援を図りました。
			点字資料、大活字本、ＬＬブック、布絵本等の充実を図るとともに、コミュニケーションボードの活用や拡大読書器等の提供により、市民の読書を支援します。	通年	蔵書数 ・点字資料 5 6 8 点 （4 9 7 点） ・大活字本 3, 0 1 0 点 （2, 9 5 4 点） ・ＬＬブック 4 3 点 （4 0 点） ・布絵本 5 9 点 （5 4 点） ・コミュニケーションボード：3 階一般室3 枚、4 階児童室1 枚 ・拡大読書器：3 階一般室1 台	障がいの有無にかかわらず、読書に困難を抱える人が利用できる資料やサービスを提供しました。
			図書館協力者や市民ボランティアと連携し、視覚障がい者等に対面朗読や録音図書（ＤＡＩＳＹ）の作成・提供を行います。	通年	・対面朗読利用件数 6 件 （2 件） ・録音図書（ＤＡＩＳＹ）貸出数 1 5 4 点 （1 5 8 点）	視覚障がい者に対し、点字資料、録音図書等の提供や対面朗読を行い、読書の支援を行いました。
			やさしい日本語や外国語の資料の提供により、日本語を母語としない市民や外国語を学ぶ市民の読書や学習を支援します。	通年	・洋書蔵書数 6, 4 2 1 点 （6, 4 1 5 点）	洋書の提供により、日本語を母語としない市民や外国語を学ぶ市民の読書や学習を支援しました。
			市民ボランティアと連携し、日本語を母語としない大人や子どもの日本語等の学習を支援します。	通年	・市民ボランティアと連携して「にほんごひろば」を開催し、日本語を母語としない大人や子どもの日本語等の学習を支援しました。 活動実績（開催回数・参加延べ人数） 月曜日クラス（10：00～12：00） 4 2 回 6 1 4 人 土曜日クラス（10：00～12：00） 4 7 回、 5 0 2 人 多文化子ども学習塾（13：30～16：30） 2 4 回、 1 5 2 人 合計 1 1 3 回 1, 2 6 8 人（1 1 0 回 1, 2 4 2 人）	延べ1, 2 6 8 人の方が「にほんごひろば」に参加し、日本語の学習を通じて、地域における学習者の生活を支援しました。 年々、参加希望者が増加する一方で、市民ボランティアの担い手が不足しており、待機者が出ている状況です。
			バリアフリーサービスや多文化サービスについて周知を図り、読書に困難を抱えている市民等の図書館利用を促進します。	通年	・大きな文字の青い鳥文庫・ＬＬブックのブックリストの配布 ・テーマ本コーナー展示 1 2 月から2 月まで（テーマ「いろいろな読書のかたち」） ・障がい者サービス利用登録者数 1 5 人（1 3 人）	バリアフリー資料及びサービスについて、ブックリストやチラシの配布、X（旧ツイッター）等への掲載等により周知を図りました。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名		事業概要	計画	実績	成果等
4	誰もが使いやすい図書館づくり	4－② 図書館の運営や快適な利用環境の維持・向上	草加市立図書館協議会を開催し、図書館奉仕に係る意見の聴取や、今後の図書館サービスについての検討を進め、事業計画に反映します。	年3回	・図書館協議会を2回開催する中で、令和5年度図書館事業報告や令和6年度中央図書館事業計画及び令和7年度中央図書館事業計画（案）を協議会委員に説明し、意見聴取を行いました。 ・教育振興基本計画の目標達成に向けた中間指標やサービスコーナーに係る運営方針の見直しについて等、図書館事業の推進に当たり課題となる事項について、意見聴取を行いました。	協議会委員のご意見を踏まえて、令和7年度中央図書館事業計画や中間指標を策定しました。
			図書館ボランティア草加と随時情報交換を行い、協働して図書館事業を推進します。	通年	・図書館ボランティア草加の役員会や懇談会に出席し、図書館の運営方針や事業などについて、情報共有を図りながら、図書館事業を実施しました。	図書館ボランティア草加と協働して図書館事業を実施することができました。
			施設・設備の維持管理や修繕を適切に行い、施設・設備の長寿命化を図ります。また、地球環境に配慮した適切な室温管理を徹底することで、快適な利用環境を提供するとともに省エネや経費節減に努めます。	通年	・施設・設備及び公用車の修繕を10件実施しました。主なものとして、不具合が生じた、3階一般室の排煙窓、手洗い場の自動水栓などの修繕を行いました。	優先順位の高い箇所を中心に修繕を実施し、適切な施設・設備の管理を行いました。 一方、現在故障により運転を停止している一部の空調設備のガスヒートポンプチャーや、法定点検により要重点点検の指摘（交換の提案）を受けているエレベータ2号機の主ロープについては、予算がつかず修繕の実施ができていません。
			市役所本庁舎に図書館のサービスポイントを設置し、市民の利便性の向上を図ります。	通年	・4月26日市役所本庁舎1階に24時間返却可能な「図書返却ポスト」を設置しました。 4／26～3/31の返却は5,694冊	サービスポイントが増えたことで利便性が向上しました。 令和7年度から議会図書室で図書館サービスを段階的に提供していくため、関係課などと円滑に調整を進めていく必要があります。
			自動販売機、デジタルサイネージ、広告マット、広告付きレシートロール、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用など、歳入の確保に努めます。	通年	・様々な歳入確保策を実施し、歳入の確保に努めました。 なお、昨年に引き続きクラウドファンディング型ふるさと納税を実施したほか、新たな歳入確保策として、10月1日から広告付きレシートロールの運用を開始しました。 令和6年度の広告料等の歳入合計2,396,558円（2,218,190円）	自動販売機561,684円 デジタルサイネージ75,974円 広告マット50,400円 広告付きレシートロール168,000円 クラウドファンディング型ふるさと納税1,540,500円 雑誌スポンサーについては1件も実績がないため、応募に向けた周知等を実施する必要があります。
			図書館要覧を作成し、令和5年度の図書館の運営状況について報告します。	年1回	・「図書館要覧」を作成し、令和5年度の図書館の活動状況等を公表しました。	「図書館要覧」を作成し、令和5年度の活動状況等を記録に残し、関係者に報告するとともに図書館ホームページで公表することができました。
			庁内関係課や市民ボランティアと連携し、多目的ホールの有効活用を図るとともに、一般利用（有料分）の促進を図ります。	通年	・ホール内での飲食や参加費の徴収等、より利用しやすくなるようルールの見直しを行いました。また、図書館ボランティア草加（L.V.S.）などの事業・イベントの実施場所として多目的ホールを有効活用しました。さらに、多目的ホールの使用料収入を増やすために、案内ポスターを館内掲示し、利用方法等を広く周知しました。 ※多目的ホール使用件数 市の主催事業81件（75件） その他（図書館ボランティア草加）70件（73件） <u>有料で貸し出した件数10件（7件）</u> 合計161件（155件） ※多目的ホール使用料24,780円（14,420円）	多目的ホールの使用料収入が10,360円増加しました。 昨今の利用実績などを鑑み、より多くの市民が利用しやすくなるよう、使用料及び利用ルールの見直しを図る必要があります。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名	事業概要	計画	実績	成果等
5	読書や図書館の魅力を伝える活動の推進	草加のまちに（町立）図書館が設立されてから100年を記念して、講演会、企画展などの文化事業を実施し、市民に読書や図書館の魅力を伝えます。	通年	・草加の図書館創立100周年を記念した事業を幅広く実施し、100年続いた「人と本をつなぐ」図書館文化や、読書や図書館の魅力を市民に伝えました。 【主な100周年記念事業】 ・ギャラリー展示「草加の図書館100年のあゆみ」及び未来の図書館絵画展（600点）の開催（10月23日～12月2日） ※ギャラリー展示は市役所及びアコスでも実施 ・図書館キャラクター名「まつぼん」のお披露目会及び小説家の須賀しのぶ氏による文化講演会の開催（10月27日） ※参加人数：図書館キャラクター名のお披露目会（第一部）99人、文化講演会（第二部）69人、オンライン13人、合計181人 ・翻訳家の小宮由氏による講演会を開催（11月17日） ※参加人数：一般40人、オンライン23人、合計63人	1年間を通じて、100周年を記念した事業を幅広く実施し、多くの方に、図書館文化や、読書や図書館の魅力を伝えることができました。
		ブックリストの配置やテーマに沿った本の紹介など読書活動に関する啓発・広報を推進し、学校・家庭・地域において、市民が読書に親しむ環境の充実を支援します。	通年	・「がっこう」等をテーマに選んだ児童室テーマ本コーナーに展示 ・利用者が記入したオーダーシートの回答をもとに、図書館職員がその利用者だけに選書したクリスマススペシャルブックリストを配付しました。（7冊×39人＝273冊） ・セタ企画「言の葉みくじ・えほんみくじ」言の葉みくじ 100個 えほんみくじ 70個 ・「ほんを読んでチャレンジしよう！としょかんビンゴ」 188人 ・夏休み図書館体験隊 8月 9日 7人 8月22日 5人 8月23日 8人 合計20人 ・影絵公演 47人	クリスマススペシャルブックリストなどの実施を通して、その人のみの限定感のある本をお勧めしました。また、本を多く借りた方が参加できるとしょかんビンゴを行い、貸出しの促進を図りました。
		ギャラリー展示により、図書館や市からの情報発信や、市民団体等の発表の場の提供を行い、市民文化の増進を図ります。	通年	ギャラリー展示 ・平和パネル「東京大空襲」（人権共生課） ・平和パネル「沖縄戦」（人権共生課） ・そうかの環境展（環境課） ・保健センター企画展（保健センター） ・みんなの認知症展（地域介護課 地域支援室） ・クリスマススペシャルブックリスト企画展（中央図書館） ・草加の図書館100年のあゆみ展（中央図書館） ・文芸企画展「草加ペンクラブ会員作品展」（草加ペンクラブ） ・「ドナルド・キーン先生と草加」展（中央図書館・文化観光課） ・「古文書が伝える草加の歴史」展（生涯学習課）	草加市の奥の細道のまちづくりに貢献されたドナルド・キーン先生を追悼する展示等により、市民文化の向上を図りました。
		大人のためのおはなし会を開催し、聞き手の想像力を育む機会を提供するとともに、読書や図書館に親しむ機会を提供します。	年1回	・大人のためのおはなし会 11月23日 19人	大人を対象に、物語の世界に多面的に触れる機会をつくることにより、本に関する新たな発見を生み、読書意欲の高揚を図りました。
		子ども映画会、大人映画会、木曜シアター、日本語字幕等が付いた作品を上映するバリアフリー上映会を開催し、障がいの有無に関わらず幅広い年代の市民が映画を楽しむ機会を提供します。	年11回	・子ども映画会 8月17日 71人 ・大人映画会 奇数月第2日曜日 5回 195人 ・木曜シアター 偶数月第4木曜日 3回 89人 ・バリアフリー上映会 12月7日 24人 合計379人	中央図書館で所蔵している視聴覚資料の上映により、障がい者を含む子どもから高年者までの幅広い年代に向けた図書館の利用促進を図りました。
		日本の古典芸能である寄席を開催し、鑑賞者の豊かな感受性と表現力及び想像力の向上を図るとともに、読書や図書館に親しむ機会を提供します。	年1回	・年の瀬図書館寄席 12月21日 77人	子どもから高年者まで幅広い世代が参加できる事業の開催により、文化の向上や読書活動の推進を図りました。
		デジタルサイネージ（広告付電子案内板）、草加市立中央図書館公式X（旧ツイッター）を活用し、中央図書館等からのお知らせを効果的に発信します。	通年	・中央図書館3階ロビーに設置しているデジタルサイネージを活用し、中央図書館のイベント等の情報を効果的に発信しました。 ・図書館ホームページについて、利用者が知りたい情報を入手しやすくなるようレイアウトを刷新しました。 ・中央図書館公式X（旧ツイッター）を活用し、おすすめの本や各種イベント等のお知らせを実施しました。 Xのフォロワー数 375フォロワー	利用者に対し、イベント情報等を効果的に発信することができました。 一方、Xのフォロワー数は、令和6年度の目標値である400フォロワーに届いていないため、発信力を高めるためにもフォロワーを増やす取り組みが必要となります。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名		事業概要	計画	実績	成果等
6	子ども読書活動の推進	6－① 計画の積極的な推進	第二次草加市子ども読書活動推進計画の推進に当たっては、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携を強化し、子どもが心に残る本と出会える機会を創出します。（仮称・読書活動推進連絡会の開催 1回）	通年	・学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、よみきかせなどの子ども読書活動を推進する多くの取組を実施しました。 ・ボランティアと連携しの11月17日に読み聞かせボランティアを主なターゲットとした講演会を実施し、ボランティア間の連携強化のためのネットワークづくりの足掛かりとしました。また、読み聞かせボランティアの実態把握のため、読み聞かせマップの掲載と併せ、ボランティア団体に関する調査を実施しました。 児童書の貸出点数 400, 840点（415, 566点） YA本の貸出点数 24, 558点（25, 134点） 児童書読み放題パックの閲覧件数 12, 788件（8, 174件） 児童室の入館者数 72, 696人（68, 494人）	児童書の読み放題パックについては、学校の朝読での活用もあり、閲覧数が大幅に増加しました。また、児童室の入館者数も増加しましたが、児童書やYA本の貸出数は減少しました。
			草加市立図書館協議会、草加市子ども読書活動推進計画庁内推進会議及び同ワーキンググループを開催し、第二次草加市子ども読書活動推進計画の進捗管理を行います。	年6回	・草加市立図書館協議会を1回開催し、草加市子ども読書活動推進計画の進捗管理を行いました。 ・草加市子ども読書活動推進計画庁内推進会議を1回、同ワーキンググループを2回（うち1回は書面による確認）開催し、進捗管理を行うとともに、課題の共有を行いました。	関係部署と情報の共有を図り、計画を推進することに繋がりました。 一方、共有された課題の中には、各担当のみでは解決が難しい内容のものもあることから、中央図書館が中心となり横断的なアプローチをしていく必要があります。
			「こどもの読書週間」や「読書週間」に合わせ、親子向け行事やギャラリー展示を実施することにより、市民に読書の楽しさや大切さを伝えます。	年2回	「こどもの読書週間」などに合わせて、子ども読書活動を広報・啓発する取組を行いました。 【こどもの読書週間（4月23日～5月12日）】 ・家庭向け読み聞かせ講習会（5月4日）（第1回） ・じどうしつまつり（5月6日）読み聞かせ参加者数155人 【読書週間（10月27日～11月9日）】 ・家庭向け読み聞かせ講習会（11月2日）（第2回）	「こどもの読書週間」などに合わせて、家庭向け読み聞かせ講習会や、絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行い、子どもが本と出会う機会を創出しました。
	6－② 児童サービスの推進		赤ちゃん向け絵本のブックリストや読み聞かせMAPを掲載した「赤ちゃんにも絵本を！」を「こんにちは赤ちゃん訪問」や子ども関連施設等を通じて乳幼児がいる家庭に配布することにより、家庭での読み聞かせや子育てを支援します。	通年	・0～2歳向けのブックリスト（読み聞かせマップ入り）「赤ちゃんにも絵本を！」を、「こんにちは赤ちゃん訪問」や「1歳7か月健診」等で配布しました。 ・3～5歳向けのブックリスト（読み聞かせマップ入り）「ぼく・わたしの絵本」を、「3歳3か月健診」や市内幼稚園、市内保育園へ配布しました。 ・上記ブックリストを市内子ども関連施設及び公民館・文化センターで配布しました。 配布数：9,000部	子どもに関係する市内施設へお勧め本のブックリストを幅広く配布し、市内全域での家読（うちどく）や施設での読み聞かせの促進を図りました。
			0・1歳児とその親を対象に「家庭向け読み聞かせ講習会」を開催し、赤ちゃんに絵本を手渡し親子で読書の楽しさを体験していただくとともに図書館の利用に繋がります。	年2回	・「絵本で子育て」赤ちゃんと家族のための読み聞かせ講座（家庭向け読み聞かせ講習会） 5月4日 親子8組22人 11月2日 親子8組21人 合計43人	親子で参加できる家庭向け読み聞かせ講習会の開催により、家読（うちどく）の促進と子育ての支援を行いました。また、本だけではなく子育て世代の悩みの解決の場として、管理栄養士による栄養相談をすることで、共通の話題で参加者同士が繋がりました。
			乳幼児や小学生向けの「読み聞かせ」を開催し、子どもと本が出会う機会を提供します。また、「読み聞かせカード」を活用し、子どもの読書習慣を育みます。	通年	・職員による読み聞かせ 毎週水曜日（0～3歳児） 全 48回 543人 ・市民ボランティアによる読み聞かせ（毎週金・土・日曜日） 全 144回 2390人 ・小学生向け読み聞かせ（毎月第3日曜日） 全 11回 107人 ・読み聞かせカードで15回読み聞かせに参加した子どもに記念品を贈呈 24人 ・読書マラソン 12人	親子で本に親しむ機会を提供し、当日使用した絵本や児童書の貸出しに繋がりました。また、過去に読み聞かせで読んだ本のリストを合わせて掲示し、家読（うちどく）に使える本の選書を容易にしました。
			4歳以上の児童を対象に、本を見ずに物語を語る「おはなし会」を開催し、子どもと本が出会う機会を提供するとともに子どもの想像力を育みます。	年5回	・おはなし会（市民ボランティアとの共催） 市民ボランティアと職員による昔話などのおはなし会 5月18日、7月27日、9月28日、12月21日、令和7年3月22日（全5回） 合計72人	おはなし会をすることにより、子どもの創造力を高めることができ、おはなし会で使用した本の貸出しにもつながりました。
			おはなし室を子どもや子育て世代の読書や交流の場として開放することで、図書館の利用に繋がります。	通年	・おはなし室を常時開放し、大型絵本を設置しました。子どもが絵本を読んだり、親子の読み聞かせなどのスペースとして活用することができました。	おはなし室を子どもや親子に開放し、利用しやすい環境を整えることにより、4階児童室の利用促進を図りました。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名		事業概要	計画	実績	成果等
6	子ども読書活動の推進	6－② 児童サービスの推進 (つづき)	幼児・児童向けの「工作会」を開催し、楽しいひと時を提供するとともに図書館の利用に繋がります。	年5回	・やさしい工作会 原則土曜日 5回 4月20日「パタパタちょうちょ」 28人 7月 6日「たなばたこうさくかい」 26人 9月14日「ゆらゆらサーカス」 26人 12月14日「ゆらゆらクリスマスツリー」 27人 2月22日「かみコップロケット」 25人 合計132人	四季や文化を感じる工作会の開催により、図書館の利用や本に親しむ機会を提供しました。
			親子寄席を開催し、日本の古典芸能である落語を体験・鑑賞することで、豊かな感受性と表現力及び想像力を育む機会を提供するとともに図書館の利用に繋がります。	年1回	・親子寄席 7月27日 55人 7月28日 42人 合計97人	落語家による話芸や絵本の読み聞かせを通じて、古典芸能や図書館に親しむ機会を提供しました。
			「こどもの読書週間」や「読書週間」に合わせ、図書館おすすめの児童書を詰めた「お楽しみ袋」等のイベントを行い、子どもが本と出会う機会を提供するとともに子どもの読書意欲を高めます。	年2回	・こどもの読書週間お楽しみ袋 4月24日～5月1日／5月3日～5月12日 貸出数：220セット 660冊 ・読書週間お楽しみ袋 10月27日～11月2日／11月3日～11月9日 貸出数：220セット 660冊	事業の実施により、1,320冊の貸出しを確実にするとともに、子どもと本の新たな出会いの機会を設け、子どもの読書意欲の向上に努めました。
			申込みを受けて、放課後児童クラブ等へ本の団体貸出を行い、施設における読書活動を支援します。	通年	・まつぼっくり稲荷第2児童クラブ 40冊 ・松原児童青少年交流センターmiraton 144冊 合計184冊	児童クラブ等からの依頼を受け、団体貸出しを行うことで、子どもの読書活動を支援しました。
			保護者や幼児・児童向けの情報誌「じどうしつだより」を毎月1回発行し、子ども関連施設等への配置により図書館の利用を促進するとともに家庭での読書活動を支援します。	月1回	・「じどうしつだより」の発行 年12回	おすすめの本の紹介や読み聞かせ等の行事の案内により、図書館の利用や子どもの読書活動を推進しました。
			読み聞かせやわらべうた等に関する講習会を開催し、市民ボランティアの技術や知識の向上を支援するとともに職員のスキルアップを図り、子ども読書活動を推進します。	年2回	・市民ボランティア向け読み聞かせ講習会 5月26日 7人 6月 2日 7人 6月 9日 5人 合計19人	市民ボランティア向け読み聞かせ講習会の開催により、本選び等の知識、読み手の技能の向上を図りました。また、職員向けのブックトーク研修を行い、職員のスキルアップを図りました。

令和6年度草加市立中央図書館事業報告

※（ ）内の数値は前年度の実績

No.	事業名		事業概要	計画	実績	成果等
6	子ども読書活動の推進	6－③ 学校支援	市内21小学校を巡回して本を貸し出す中央図書館サービスコーナーや、学校からの依頼による調べ学習等の資料貸出し及びパスファインダーの提供を通じ小学校の読書活動を支援します。	通年	・サービスコーナー 合計貸出冊数 147,926冊（151,902冊） ・団体貸出（小学校）7件 217冊（272冊）	市内全小学校を巡回するサービスコーナーと、団体貸出による資料提供を通じ、小学校の読書活動を支援しました。
			小学生の図書館見学や中学生の社会体験事業に協力し、図書館に対する理解を深めてもらうとともに学校からの依頼によるブックトークを行い、子どもと本が出会う機会を創出します。	通年	・図書館見学 小学校17校 ・出前授業 小学校1校 ・ブックトーク 小学校2校	図書館見学に対応し、図書館の施設の紹介や利用案内等を行い、図書館の利用促進を図りました。 学校でのブックトークにより小学生の読書活動の支援を行いました。
	子ども読書活動の推進	6－④ ヤングアダルトの読書推進	「ビブリオバトル・草加の陣」の開催、及び紹介された本の展示や貸出しにより、子ども読書活動を推進します。	年1回	・小中高生が出演する「ビブリオバトル・草加の陣」を会場開催、会場にいたバトラー及び観戦者に投票してもらいました。 開催日：2月1日 チャンプ本：小学生の部 『モノのなまえ事典』 中学生の部 『阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし』 ・紹介された本の展示等 児童特設コーナーの設置 2月11日～3月31日 YAコーナー 2月11日～3月31日	高校生を新たにバトラーの対象としたことで、幅広い世代の子どもとの交流が図られたことや、子どもたちの発表力を高めながら、読書活動の推進を図ることができました。 また、紹介された本の展示を中央図書館で行い、貸出しに繋げました。
			市内県立高校と連携し高校生が読書に親しむ環境整備事業を実施することで、中高生の読書活動を推進します。	通年	・YAワークショップ「指名手配本を探せ！」（3月25日） 参加者 13人 当日運営の高校生 10人 ・市内高校4校合同POP展「図書館の世界」（10月2日～11月30日） ・草加西高校へのよみきかせに関する出前授業（11月13日） 対象者：保育基礎選択者24人	YAワークショップを企画・運営した高校生と、参加者の中高生同士が、本を介して積極的に交流を図りながら、ワークショップを進めることができました。また、参加者が作成した「指名手配書（本）」を館内掲示し、中高生世代の読書活動を推進する取組を広くPRしました。
			ヤングアダルト（YA＝中高生世代）におすすめしたい本の情報誌「Ya-Room.com」を年4回発行し、館内配布や市内中学校・高校に向けた情報発信により中高生の本との出会いや図書館利用の機会を提供します。	年4回	・主に中高生向けの「Ya-Room.com」の発行（市内県立高校と連携して作成） 年4回（4月・7月・10月・1月発行） 中央図書館、公民館・文化センター（6館）での配布 中学校11校及び高等学校4校に配布 教育支援室 ふれあい教室に配布 ・中央図書館テーマ本コーナーで高校の図書委員が選ぶ「推し本」を紹介	「Ya-Room.com」の配布や、図書館ホームページへの掲載により、中学生・高校生世代の図書館の利用を促進し、読書活動の推進に繋げました。
			スマートフォンから気軽に読書ができる草加市電子図書館に、ヤングアダルト（YA＝中高生世代）におすすめの電子書籍を充実させ、読書活動を推進します。	通年	・ヤングアダルトにおすすめの文学作品（ライトノベル等）や学習を支援する資料の特集を組み、周知を図りました。 また、小学生低学年から中学生向けの同時接続数に制限のない児童書200点を導入しました。	ヤングアダルトになじみの深いスマートフォン等から利用できる電子図書館（電子書籍）で、文学作品等を提供し、読書活動の推進に繋げました。
			定期テスト前に集会室を開放し、中高生に学習の場を提供することで、読書や図書館の利用に繋がります。	随時	・定期テスト前に集会室を年間42日開放し、中高生に学習の場を提供しました。 また、利用状況を考慮し、多目的ホールについても年間8日開放しました。	中高生に学習場所の提供をするとともに、来館のきっかけを作ることで、図書館の利用に繋げました。